



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 エフビー介護サービス株式会社 上場取引所 東
コード番号 9220 URL <https://fb-kaigo.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)柳澤 美穂
問合せ先責任者 (役職名)経理財務部長 (氏名)二之宮 修 (TEL)0267(88)8188
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,534	6.7	213	32.7	237	49.3	149	52.3
2023年3月期第1四半期	2,375	—	160	—	158	—	98	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 152百万円 (52.9%) 2023年3月期第1四半期 99百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	56.02	—
2023年3月期第1四半期	37.80	—

(注) 1. 当社は2022年3月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年3月期第1四半期における対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	8,881	3,136	35.3
2023年3月期	9,019	3,037	33.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 3,136百万円 2023年3月期 3,037百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	13.00	—	20.00	33.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	13.00	—	20.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,449	8.6	552	1.4	642	△12.9	401	△9.8	149.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	2,676,000株	2023年3月期	2,676,000株
② 期末自己株式数	—株	2023年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2,676,000株	2023年3月期1Q	2,604,153株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が第5類感染症に移行し、感染も比較的抑えられたことから、経済社会活動の正常化が進み、個人消費が回復してきましたが、ウクライナ戦争の長期化や労働力不足、依然として続く円安、資源・エネルギー及び食料品価格の上昇が続き、景気の本格的回復までにはいたりませんでした。

介護業界におきましては、高齢化率の上昇とともに、介護サービスの需要が益々高まりつつあるものの、従来から課題となっている人財の確保の他、食材費や光熱費等の高騰が事業運営上での問題となっております。

このような状況の下、当社グループは介護人材の確保のため、技能実習生や特定技能外国人採用を進めると共に政府による福祉・介護職員の処遇改善を目的とした補助金制度を活用して加算報酬要件を満たす取り組みを実施いたしました。

また、4月から年間休日を108日から120日に増やして従業員の処遇改善を行っており、人材確保の他、従業員の士気向上と生産性の向上に努めると共に介護事業で従業員の給与体系の見直しを行いました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,534百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益は213百万円（前年同期比32.7%増）、経常利益は237百万円（前年同期比49.3%増）、親会社株主に帰属する四半期利益は149百万円（前年同期比52.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当社は経営上の管理区分の見直しを行ったことに伴い、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、居宅介護支援を「福祉用具事業」から「介護事業」へ移管しております。前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分にて組み替えた数値で比較しております。

(福祉用具事業)

福祉用具事業においては、キャンペーン等の実施によりケアマネジャーや介護施設、病院への訪問活動を進めると共に、引き続き前期に開設した小山営業所(栃木県)の営業を強化し、所在する栃木県の県南地域の利用者様へのサービス体制の充実に努めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の福祉用具事業の売上高は1,057百万円（前年同期比6.4%増）、セグメント利益は101百万円（前年同期比30.2%増）となりました。

(介護事業)

介護事業においては、2023年3月に開設した4事業所の営業を進めて入居者の確保に努め、2022年11月に子会社化した株式会社シルバーアシストの事業所のテコ入れを行い売上高が増加いたしました。既存事業所を含めて食材費や光熱費等のコストの上昇が続いており、経費の削減や効率化に努めております。

居宅介護支援においては、特定事業所加算の取得を進めて加算取得事業所が1事業所増加し、計10事業所となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の介護事業の売上高は1,477百万円（前年同期比6.9%増）、セグメント利益は111百万円（前年同期比35.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態は、次のとおりであります。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ137百万円減少し、8,881百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ51百万円減少し、4,067百万円となりました。主な要因は、現金及び預金65百万円の減少によるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べ85百万円減少し、4,808百万円となりました。主な要因は、建物及び構築物(純額)73百万円の減少によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ236百万円減少し、5,744百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ143百万円減少し、2,546百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の減少114百万円によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ93百万円減少し、3,198百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少103百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ98百万円増加し、3,136百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益149百万円等の計上に伴う利益剰余金の増加96百万円であります。自己資本比率は前連結会計年度末の33.7%から1.6ポイント増加し35.3%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績は順調に推移しており、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって、これら予想数値と異なる可能性があります。

2024年3月期通期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日公表の予想数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,366,322	2,301,176
売掛金	1,436,891	1,490,521
商品	10,606	10,738
貯蔵品	14,856	14,666
その他	290,127	250,473
貸倒引当金	△69	△72
流動資産合計	4,118,734	4,067,502
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,686,312	3,612,681
その他（純額）	573,109	573,115
有形固定資産合計	4,259,421	4,185,796
無形固定資産		
のれん	74,511	70,590
その他	35,374	32,536
無形固定資産合計	109,886	103,126
投資その他の資産	524,470	519,326
固定資産合計	4,893,778	4,808,249
繰延資産		
株式交付費	6,542	5,728
繰延資産合計	6,542	5,728
資産合計	9,019,056	8,881,481

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	175,259	179,362
短期借入金	700,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	437,970	426,345
未払法人税等	212,252	97,567
賞与引当金	344,290	267,318
その他	819,718	875,708
流動負債合計	2,689,490	2,546,301
固定負債		
長期借入金	2,692,284	2,588,898
退職給付に係る負債	23,812	20,663
資産除去債務	209,363	209,868
その他	366,487	379,189
固定負債合計	3,291,947	3,198,619
負債合計	5,981,438	5,744,920
純資産の部		
株主資本		
資本金	496,544	496,544
資本剰余金	486,544	486,544
利益剰余金	2,049,009	2,145,412
株主資本合計	3,032,097	3,128,500
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,520	8,060
その他の包括利益累計額合計	5,520	8,060
純資産合計	3,037,618	3,136,560
負債純資産合計	9,019,056	8,881,481

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,375,017	2,534,752
売上原価	1,949,073	2,087,538
売上総利益	425,944	447,213
販売費及び一般管理費	265,446	234,212
営業利益	160,498	213,000
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	574	641
補助金収入	46	25,170
その他	8,940	9,164
営業外収益合計	9,562	34,976
営業外費用		
支払利息	9,391	8,912
その他	1,781	1,865
営業外費用合計	11,172	10,777
経常利益	158,887	237,199
特別損失		
固定資産除売却損	0	-
関係会社出資金評価損	-	2,176
特別損失合計	0	2,176
税金等調整前四半期純利益	158,887	235,022
法人税等	60,439	85,100
四半期純利益	98,448	149,922
親会社株主に帰属する四半期純利益	98,448	149,922

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	98,448	149,922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,245	2,539
その他の包括利益合計	1,245	2,539
四半期包括利益	99,694	152,462
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	99,694	152,462

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。